

2021

社会・環境レポート

Save The Earth

双信電機株式会社
SOSHIN ELECTRIC CO., LTD.

双信デバイス株式会社

双信パワーテック株式会社

立信電子株式会社

SOSHIN ELECTRONICS(M)SDN. BHD

事業概要

2021 社会・環境レポート

目次

■ 事業概要

会社概要・事業拠点・財務ハイライト	1
社長メッセージ・コーポレートガバナンス	2
事業領域と関連製品	3

■ 社会性報告

CSR 活動について (SDGs: 持続可能な開発目標への対応)	4
人間性の尊重、快適な職場環境の確保	5~6
地域社会との協調、社会貢献活動の推進	7

■ 環境報告

環境マネジメントシステム	8
環境保全活動の概要	9
環境会計	10
物質収支・含有化学物質管理	11
環境負荷低減活動への取り組み	12
省エネ対策事例	13
資源活用の取り組み	14

編集方針

このレポートは双信電機グループの社会・環境にかかわる取り組みを報告しています。

【対象期間】

2020年4月～2021年3月

【対象範囲】

双信電機株式会社
双信デバイス株式会社
双信パワーテック株式会社
立信電子株式会社
双信エレクトロニクスマレーシア

2021年9月発行

■ 会社概要 (2021年3月末現在)

社名：双信電機株式会社
英文名：SOSHIN ELECTRIC CO.,LTD.
URL：http://www.soshin.co.jp

東京本社 〒105-0023
東京都港区芝浦1丁目1番1号 浜松町ビルディング14F
Tel.03-5730-4500 Fax.03-5730-4504

創業：1938年（昭和13年）12月
設立：1944年（昭和19年）4月
資本金：3,806百万円（2021年3月末現在）
従業員数：745名（2021年3月末現在）

■ 事業拠点

【国内営業拠点】

東京本社
名古屋営業所 / 大阪営業所 / 九州営業所

【国内製造・技術拠点】

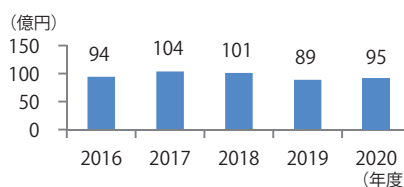
浅間工場、千曲技術センター

【グループ会社】

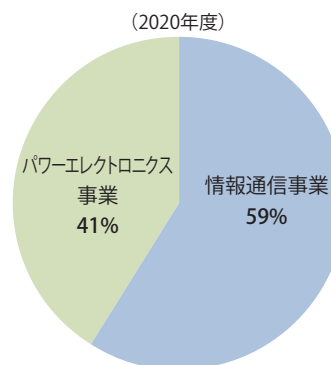
双信デバイス株式会社
双信パワーテック株式会社
立信電子株式会社
双信エレクトロニクスマレーシア
双信エレクトロニクス・オブ・アメリカ
双信エレクトロニクスヨーロッパ
双信電子(香港)有限公司
双信華科技(深圳)有限公司
台湾双信電機股份有限公司

■ 財務ハイライト

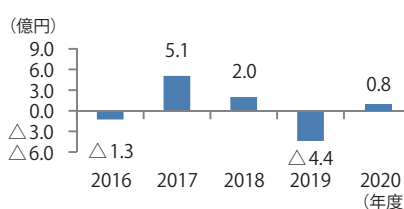
■ 売上高



■ セグメント別売上高比率



■ 営業利益



事業概要

社長メッセージ



代表取締役社長

上岡 崇

新型コロナウイルスについては依然として収束の道筋がはっきりとは見えない状況が続いておりますが、本格化してきたワクチン接種がその道筋を示す灯りとなり、この報告書が皆さんの目に留まるころには、状況に大きな改善が見られることを祈念いたします。

コロナ禍による様々な制約の中で、我々も行政の求めに応じて当該地域にある拠点で在宅勤務などの対応をして参りました。あらためて日常が日常のままであることをありがたさを感じた次第です。

このような状況下ではありますが、会社としては変わらず社会のお役に立てる企業としての活動を継続しております。生活様式の変化によって、インターネットを通じた活動が活発化する中で、当社が電子部品を供給している携帯電話の基地局や無線 LAN などの需要が高まっており、需要の増加に応じるための設備投資を実施するなど、製品の供給を通じて社会の変化に対して貢献しております。

また変わらず二酸化炭素排出量の削減に向けた LED 照明の設置や高効率の空調設備への切り替え等を実施し電力使用量の低減を図っております。

さらに従業員の職場環境の改善に向けて当期に一部職場で ISO45001 の維持審査を受けました。これは労働安全衛生マネジメントシステムの国際規格です。従業員が安心して働ける職場を目指して取得し、来期にはその活動を全ての国内拠点に拡大して参ります。

当社の貢献は社会にとって微力かもしれませんが、自分たちのできる精いっぱい努力によって私たちに続く世代が安心して生活できる世界の実現に向けて、今後も活動を続けて参ります。

ステークホルダーの皆様の変わらぬご支援をいただきますようよろしくお願いいたします。

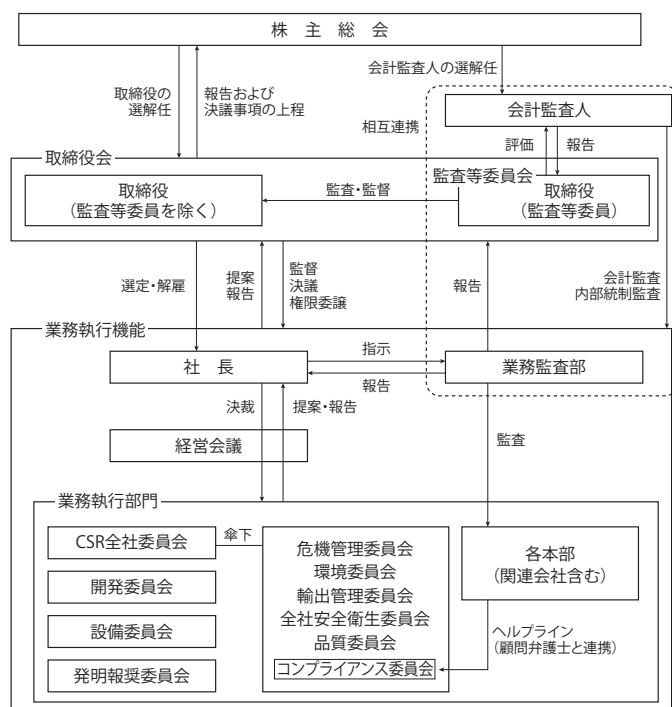
◆コーポレートガバナンス

当社グループは、企業価値向上を経営上の重要な課題の一つと位置づけています。

コーポレート・ガバナンスの強化は、事業活動の適法性と経営の透明性を高め、会社に関わる全てのステークホルダー（株主、顧客、従業員、取引先、地域社会等）から信頼される企業となることに繋がり、企業価値を向上する重要な施策と考えています。

その実現に向け、経営組織体制の整備、経営効率の向上、経営監視機能の強化といった取締役会、監査等委員会等の責務を明確にし、法令遵守の徹底に努めるとともに、株主の権利、平等性の確保と株主との対話の促進により、相互に信頼できる関係を築きます。

ガバナンス体制



事業概要

事業領域と関連製品

双信電機グループは情報通信分野とパワーエレクトロニクス分野で、時代のニーズとお客様の期待に応え、環境負荷に配慮し小型・高性能・廃棄の少ない製品づくりを行い、低炭素社会の実現に貢献しています。

【情報通信事業】

・情報通信インフラ

誘電体積層フィルタやカプラなどの高周波部品が携帯電話基地局 (5G) などの情報通信機器市場のインフラ設備を支えています。

・情報通信端末

無線 LAN の最新規格 (Wi-Fi6) のアクセスポイントに積層誘電体フィルタが採用されています。



【パワーエレクトロニクス事業】

・ノイズ関連

半導体製造装置や工作機械などの産業分野、空調、エレベーターなど暮らしを支える設備、地球環境への負荷低減が期待される省エネ設備でノイズ障害対策のニーズが高まっています。当社の E M C 製品は装置から発生するノイズ問題を解決し、多くの分野で活躍しています。

・カーエレクトロニクス、鉄道

EV 急速充電器などにノイズフィルタやコンデンサを提案しています。鉄道車両や鉄道運行管理システムにおいても各種フィルタやコンデンサが安全・安心を支えています。

社会性報告

CSR 活動について

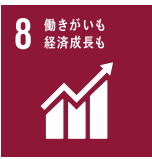




◆SDGs：持続可能な開発目標への対応

双信電機グループは、国連が採択した「持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）」を指標に事業活動を通じて幅広く社会における課題の解決に貢献することが重要な社会的責任であると考えます。

双信電機グループが対応し得る5項目について、提供価値を具体化し活動を行っています。

会社の成長と共に、貢献できる項目を増やして行くことで、経済成長に寄与できる様に活動して参ります。

双信電機グループが関連するSDGsの5項目

	関連する内容	双信電機グループの提供価値
	人間性の尊重、快適な職場環境の確保	雇用・採用を適切に行い、個性と多様性を尊重することで、従業員の働き甲斐のある安全な職場を提供し、経済成長に寄与します。
	地域社会との協調、社会貢献活動の推進	地域社会との共存をはかり、持続可能な都市および人々の居住環境の実現に寄与します。
	物質収支（インプット／アウトプット）含有化学物質の管理	事業活動に必要なエネルギーや化学物質・水等を効率的に利用し、アウトプットの削減を行います。
	環境保全活動 環境負荷低減活動への取り組み	環境目標を設定し、CO ₂ 排出量・廃棄物の削減、含有化学物質の管理強化、環境に関する苦情・事故を起こさない様に取り組み、環境保全と環境負荷の低減に寄与します。
	資源活用の取り組み	3R（リデュース・リユース・リサイクル）を推進、資源循環によりゼロエミッションを達成することで、間接的に森林保護・砂漠化対策・生物多様性損失防止に寄与しています。

社会性報告

人間性の尊重、快適な職場環境の確保

◆雇用・採用に関する基本方針

双信電機グループでは事業の中長期成長を見据えた人員計画を立て、雇用の安定に努めています。新卒の計画的採用を行うと共に、社内ローテーションを積極的に展開し、必要な能力・経験を持った人材の適正配置を進め、従業員の働き甲斐、働き易さを意識した活動を推進しています。

◆こころの健康づくり

双信電機グループでは「こころ」のケアを充実させるために産業医、顧問医、保健師、カウンセラー、産業保健スタッフが一致団結して、こころの健康づくりの活動に取り組んでいます。

社員の健康意識も高まりストレスチェックの受検率はほぼ100%となっております。

また、長時間労働対策に関して、管理職への教育、残業時間の管理、定時退社日の徹底などを実施しています。

◆個性と多様性の尊重

障害者雇用については法定雇用率2.2%に対し3.03%（2020年実績）となっております。

また、定年退職後の再雇用制度を導入し、フルタイム、パートタイムなど個人のセカンドライフプランに合わせた柔軟な勤務形態を用意しております。

◆ワークライフバランスの実現

女性社員の多くが産前産後休暇や育児休暇制度を利用し、仕事と育児の両立を果たしています。

このほか、リフレッシュ休暇制度や計画有給取得制度を活用し、心身のリフレッシュを図れる制度を整えています。

また2021年度より有給休暇の時間単位取得制度を導入し、より柔軟な働き方が可能となりました。

◆管理職研修

初めてオンライン開催とし、マネジメントに関する教育を行いました。オンラインならではの拠点を越えた意見交換ができました。



◆コンプライアンス強化

全社員に対し、外部講師によるコンプライアンス研修を行いました。

営業・調達・関係社員に対し、外部講師による競争法のビデオ研修を行いました。

社会性報告

人間性の尊重、快適な職場環境の確保

◆安全衛生活動

双信電機グループでは、従業員の安全及び健康を確保し、快適な作業環境の形成を促進すると共に、業務災害ゼロを目指して安全衛生活動を積極的に展開しております。

主な活動として、緊急事態を想定した防災訓練、「回転体巻き込まれ、挟まれ、感電、爆発事故」等の重篤災害・重大事故の抑制／未然防止活動、グループ会社間での相互パトロールによる隠れた危険要因の顕在化に注力しております。また、従業員への安全アンケートによる危険要因の抽出、是正を行い、従業員側の視点・意見を生かした安全衛生活動も行っております。

◆産業保健活動

全国労働衛生週間では、ストレスチェックを実施し、拠点別、年度別の変化を分析、産業保健活動に繋げる事で、心身の健康増進を図り、社内の安全・衛生の更なる向上に活かしております。

◆ISO45001 認証取得

2019年度に労働安全衛生マネジメントシステムISO45001を浅間工場・浅間工場中込分室・千曲技術センターで認証取得し、現在、2021年度内の双信電機グループ国内全拠点認証取得に向けて準備を進めております。



防災訓練（千曲技術センター）



2021年度全社安全教育



ISO45001：2018 認証書

社会性報告

地域社会との協調、社会貢献活動の推進

◆献血活動参加

東京本社 浅間工場 千曲技術センターにて献血活動に参加をしました。



◆あいさつ運動

双信パワーテックがある山之口地区の挨拶運動に参加をしました。



◆アダプトシステム環境美化活動

千曲技術センターにて長野県アダプトシステムにて寄贈していただいた花をプランターに植え、工場周辺の歩道に設置しました。



◆工場周辺美化活動

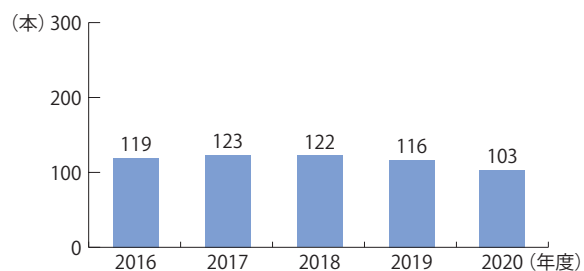
双信デバイスで工場周辺のゴミ拾いを実施し、美化活動に貢献しました。



◆エコキャップ運動

回収したエコキャップは、再生プラスチック原料として換金し、社会貢献活動にあてられています。

2020年度はワクチン換算で103本でした。



環境報告

環境マネジメントシステム

環境方針

1. 法令・協定・顧客との取り決めおよび自主基準を順守する。
2. 環境目標を設定し、組織的・継続的な環境負荷低減活動を地域社会とともに推進する。
3. 環境に配慮した製品の開発・設計・製造販売を行う。
4. 環境汚染の予防処置と監視を行う。
5. 教育・啓発活動を進め、従業員および事業に関わる人々すべての役割・責任についての自覚高揚を図る。

◆環境保全活動の推進体制

環境保全に関する双信電機グループの方針／施策は、環境管理担当役員を委員長とする「環境委員会」で決定します。ここで決定した方針・施策は、各サイトの拠点長、環境管理責任者を通じて全社に展開されます。

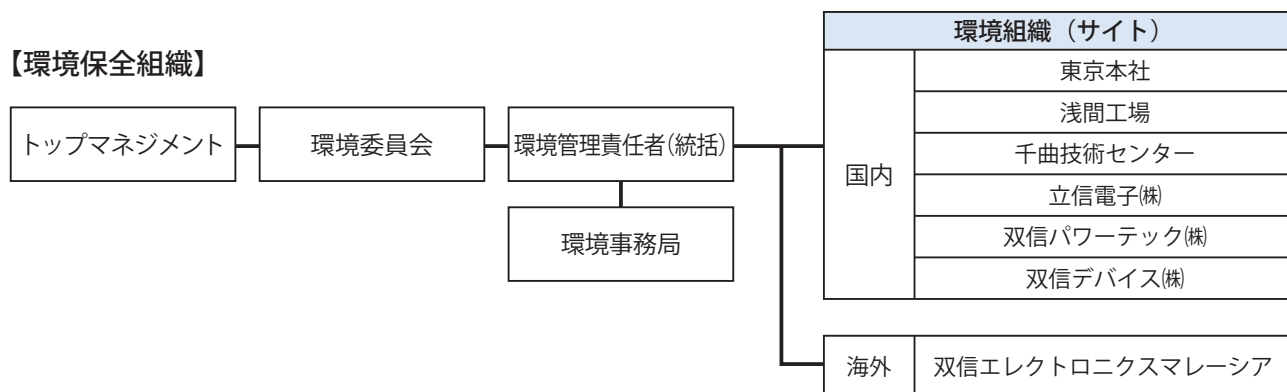
環境組織の活動として、半期ごとに開催される環境委員会の他、環境会議を毎月開催し、CO₂排出量や産業廃棄物排出量などの目標に対する予実管理のほか環境に関する情報交換などを行い、環境保全活動を継続的に推進しています。

◆ISO14001 認証・環境監査

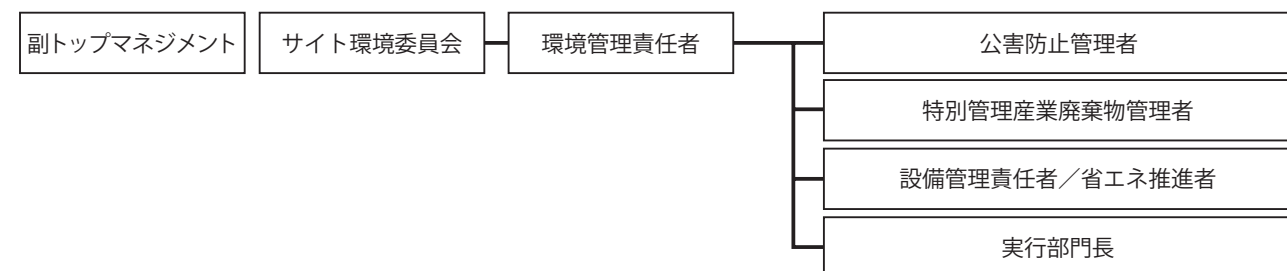
双信電機グループは、環境マネジメントシステムの国際規格ISO14001：2015年版の認証を取得しています。

環境監査は認証機関による外部監査、環境管理部による環境査察、実行部門が行う内部環境監査を実施しマネジメントシステム維持向上に努めています（内部環境監査員241名）。

ISO14001：2015年版 認証の適用範囲



【各サイト環境保全組織】



環境保全活動の概要

双信電機グループの環境活動は、環境目的とそれを達成するための環境目標を設定し、自主的な環境保全に努めています。

◆2020年度活動報告および2021年度目標

【CO₂排出量】

2020年度の環境負荷低減活動としてのCO₂排出量は、目標未達成でした。

2021年度CO₂排出削減の取り組みとして、省電力設備への段階的な変更を実施します。

生産性向上、設備稼働ロス・負荷低減、省エネパトロールによる無駄の排除につきましても、継続して実施していきます。

【産業廃棄物排出量】

2020年度の産業廃棄物排出量は、目標を達成しました。

2021年度、原材料の収率向上等をはかり更なる廃棄物排出量の削減を実施していきます。

【含有化学物質の管理強化】

RoHS指令、REACH規則、TSCA規制においても管理対象物質が年々追加されており、製品に使用する物質への制限・管理が厳しくなっています。

双信電機グリーン調達ガイドラインに基づき、最新の規制情報にあわせた管理を実施しています。また、製品構成部材の含有化学物質管理を目的に、仕入先の環境品質調査を実施し、グリーン調達活動を進めています。

【環境に関する苦情・事故の有無】

2020年度は環境に関する苦情・事故は発生しておりません。2021年度も苦情・事故が発生しないように、環境保全に向けた活動を継続していきます。

◆主な環境保全活動

項目	2020年度実績			2021年度目標
	目標	実績	自己評価	
環境マネジメントシステム (ISO14001)	<ul style="list-style-type: none"> 環境教育と啓蒙活動を継続します。 環境マネジメントシステム2015年版の運用を確実にを行い、各部門・内部環境監査員のレベルアップをはかります。 環境法規制を順守します。 	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の周知、環境目標などの環境教育を実施しました。 環境マネジメントシステム2015年版による認証維持審査を受審、運用に問題が無いことを確認出来ました。内部環境監査員教育の実施をし、監査員の増員、レベルアップを図りました。 環境法規制は順守継続できました。 	○	<ul style="list-style-type: none"> 環境教育と啓蒙活動を継続します。 国内全グループ、環境マネジメントシステム2015年版の運用を確実に行うと共に、ISO45001のマネジメントシステムとの統合認証を図ります。 環境・安全衛生法規制の順守を継続します。
地球温暖化防止	<ul style="list-style-type: none"> 国内のCO₂排出量を6,915t以下にします。(CO₂原単位排出量を84.6t/億円以下にします。) 	<ul style="list-style-type: none"> 国内のCO₂排出量は、目標値6,915tに対し、6,931tであり、目標値を達成する事ができませんでした。(CO₂原単位排出量については、生産量の変動に伴い、88.5t/億円と目標を達成できませんでした。) 	△	<ul style="list-style-type: none"> 国内のCO₂排出量を7,173t以下にします。(CO₂原単位排出量を82.1t/億円以下にします。)
廃棄物管理活動	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物排出量を296t以下にします。 	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物排出量は、目標296tに対し、220tとなり、目標値を達成する事ができました。 	○	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物排出量を224t以下にします。
化学物質の適正管理	<ul style="list-style-type: none"> 蛍光X線分析装置により、海外調達品の受入検査を継続、仕入先環境品質調査を実施し、グリーン調達ガイドラインを順守します。 	<ul style="list-style-type: none"> 検査対象の受入部材の検査を実施し、異常は発生していません。仕入先環境品質調査を計画通り実施し、クリーン調達を推進しました。 	○	<ul style="list-style-type: none"> 蛍光X線分析装置により、海外調達品の受入検査を継続、仕入先環境品質調査を実施し、グリーン調達ガイドラインを順守します。
有害化学物質の削減	<ul style="list-style-type: none"> PCB/鉛を含む有害物質の削減を実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> PCB使用機器の期限内処分を推進いたします。 	○	<ul style="list-style-type: none"> RoHS指令の動向注視と材質の変更を推進します。 PCB含有機器の調査継続と、適正な手続きを実施し、期限までに処分を実施いたします。

環境報告

環境会計

◆環境保全コスト、環境保全対策にともなう改善効果

双信電機グループは、環境保全の為に支出した金額とその改善効果を定量的に把握するため、環境会計を実施しています。

双信電機グループにおける2020年度環境保全コストにおいて、エアコン導入・社用車入替等、省エネルギー型設備への入替を行い、計3,188万円を支出しました。改善効果は来年度以降、確認いたします。

環境保全活動の費用は、計1,963万円と前年度より351万円の減額となりました。
2020年度単年の改善効果は200万円となりました。

実績集計：2020年度（2020年4月1日～2021年3月31日） ※環境省環境会計ガイドラインに沿って作成しております。

単位：万円

分類	内容	環境保全コスト				改善効果額	
		支出額		費用額		2019年度	2020年度
		2019年度	2020年度	2019年度	2020年度		
公害防止	公害防止のために必要なコスト	0	0	187	304	—	—
地球環境保全	省エネ設備導入等 CO ₂ 削減のために必要なコスト	7,508	3,188	92	115	476	200
資源循環	節水等資源効率利用、廃棄物の削減・リサイクル・処理・処分するために必要なコスト	0	0	1,209	977	—	—
上・下流	事業活動に伴う上流下流で生じる環境負荷を抑制するためのコスト	0	0	0	0	—	—
管理活動	ISO14001 認証取得・維持、環境教育、環境負荷の監視測定等環境保全に必要なコスト	0	0	416	480	—	—
研究開発	環境負荷削減の研究開発・企画設計、環境保全に資する製品開発・研究に必要なコスト	0	0	0	0	—	—
社会活動	自然保護、緑化、地域の環境支援、環境情報の公表、環境広告に必要なコスト	0	0	410	87	—	—
環境損傷	土壌汚染による改良、自然破壊修復等に必要なコスト	0	0	0	0	—	—
合計		7,508	3,188	2,314	1,963	476	200

環境報告

物質収支（インプット・アウトプット）

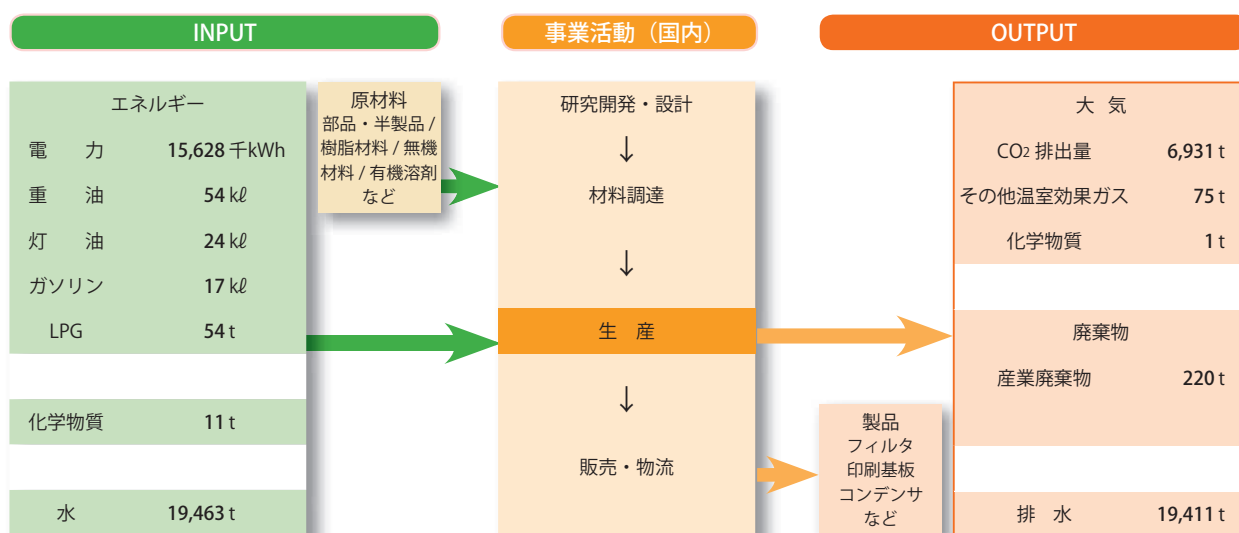
双信電機グループの国内における事業活動に関して、2020年度1年間でインプットされた資源・エネルギーと生産された製品、廃棄物及びその他の排出物（アウトプット）を示します。

◆インプット・アウトプットの概要

インプットは、事業活動に必要な部品、原材料、エネルギー、化学物質、水などによって構成されます。

アウトプットとしては、製品生産活動にともなうCO₂排出、廃棄物、排水などがあります。

双信電機グループでは製品以外のアウトプットを削減するため、省エネ活動や原材料の収率改善によりインプットを極力削減する活動を行っています。



含有化学物質管理

◆含有化学物質調査

取引先様からの製品含有化学物質調査依頼に対し、迅速に対応できるように、また、ライフサイクルの視点で、部品選定の段階から含有化学物質の使用有無の調査に取り組んでいます。

◆蛍光X線分析

禁止物質の含有有無を確認するために、一部の部品・材料については、入荷時蛍光X線分析装置によるスクリーニング検査を実施し、非含有であることを確認しています。

◆グリーン調達

環境負荷の少ない部品・材料の調達を進めており、仕入先への環境品質調査を実施し、化学物質管理に問題が無いことを確認しています。

「双信電機グループ グリーン調達ガイドライン」に基づいて、仕入先に積極的な取り組みのご協力をお願いしています。

環境報告

環境負荷低減活動への取り組み

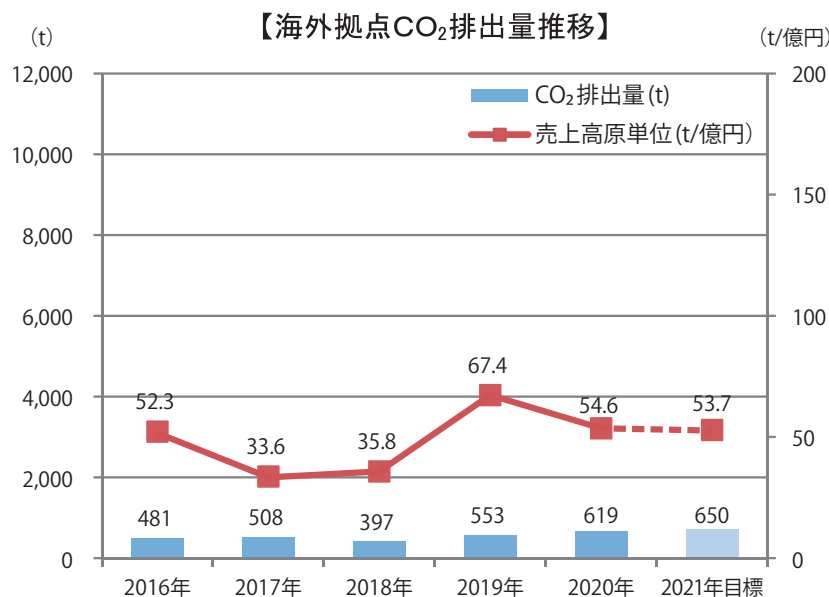
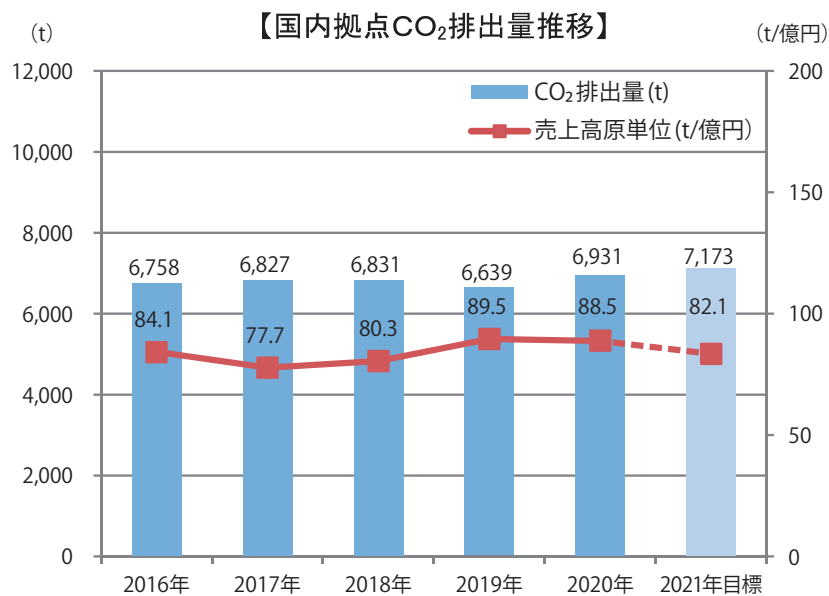
地球温暖化防止への対応として、老朽化設備の入替、LED導入等、CO₂排出量削減に取り組んでいます。

2020年度の国内のCO₂排出量は、ノイズ関連部品・厚膜印刷基板などの売上回復により、6,931t、売上高原単位は、88.5t/億円となりました。

2020年度の海外拠点でのCO₂排出量は619t、売上高原単位は、54.6t/億円となりました。

2021年度の国内拠点でのCO₂排出量は、7,173t以下（売上高原単位82.1t/億円）を目標にします。

◆CO₂排出量



環境報告

省エネ対策事例

- ◆双信パワーテック 工場一部改築
照明をLEDに置き換えました。(CO₂年間約41%削減)

変更前

蛍光灯



変更後

LED



- ◆空調機入替
高効率空調設備への入替を実施しました。(CO₂年間約20%削減)

変更前

電気式パッケージエアコン



変更後

電気式パッケージエアコン



資源活用の取り組み

◆廃棄物排処理

◆双信電機グループは、環境保全のため、循環型社会の形成を重要視しています。グループ内の事業活動で排出される廃棄物を資源として捉え、3R（リデュース・リユース・リサイクル）を推進しています。

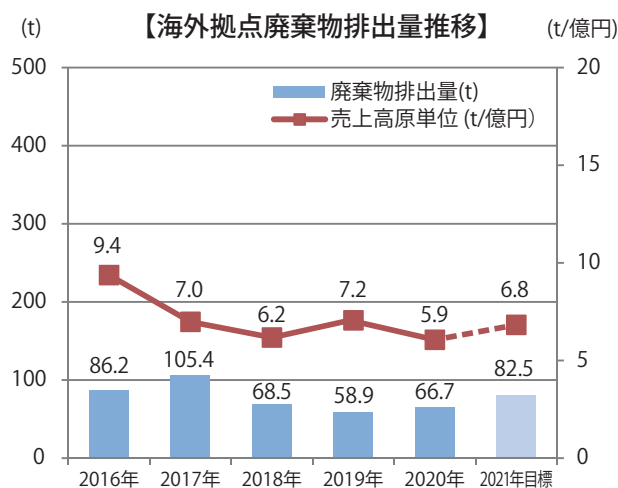
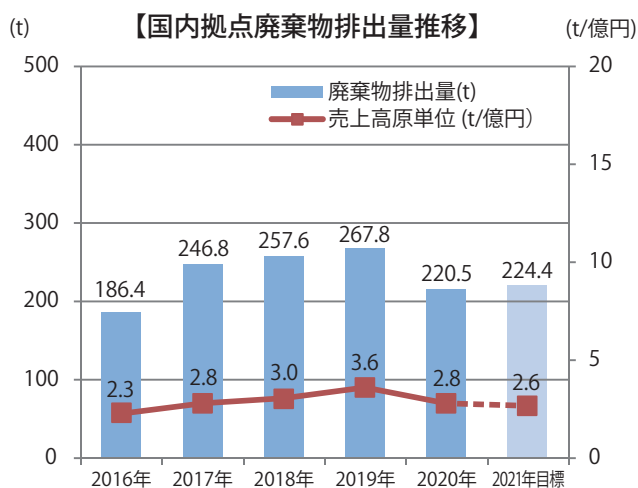
2020年度総排出量220.4tに対し、リユースが116.3t、リサイクルが104.1tで、ゼロエミッションを継続しています。2021年度は総排出量224.4t以下を目指します。

（*当社ゼロエミッションの考え方：売上高原単位最終埋立量を0.12トン/億円以下にする活動。）

◆法に基づいた処理が適正に行われるように、行政に認可を受けた廃棄物処理業者とのみ委託契約を結び、マニフェスト（廃棄物管理表）の発行、処理記録を残しています。

今期よりすべてのサイトで、電子マニフェストへの切り替えを実施しました。

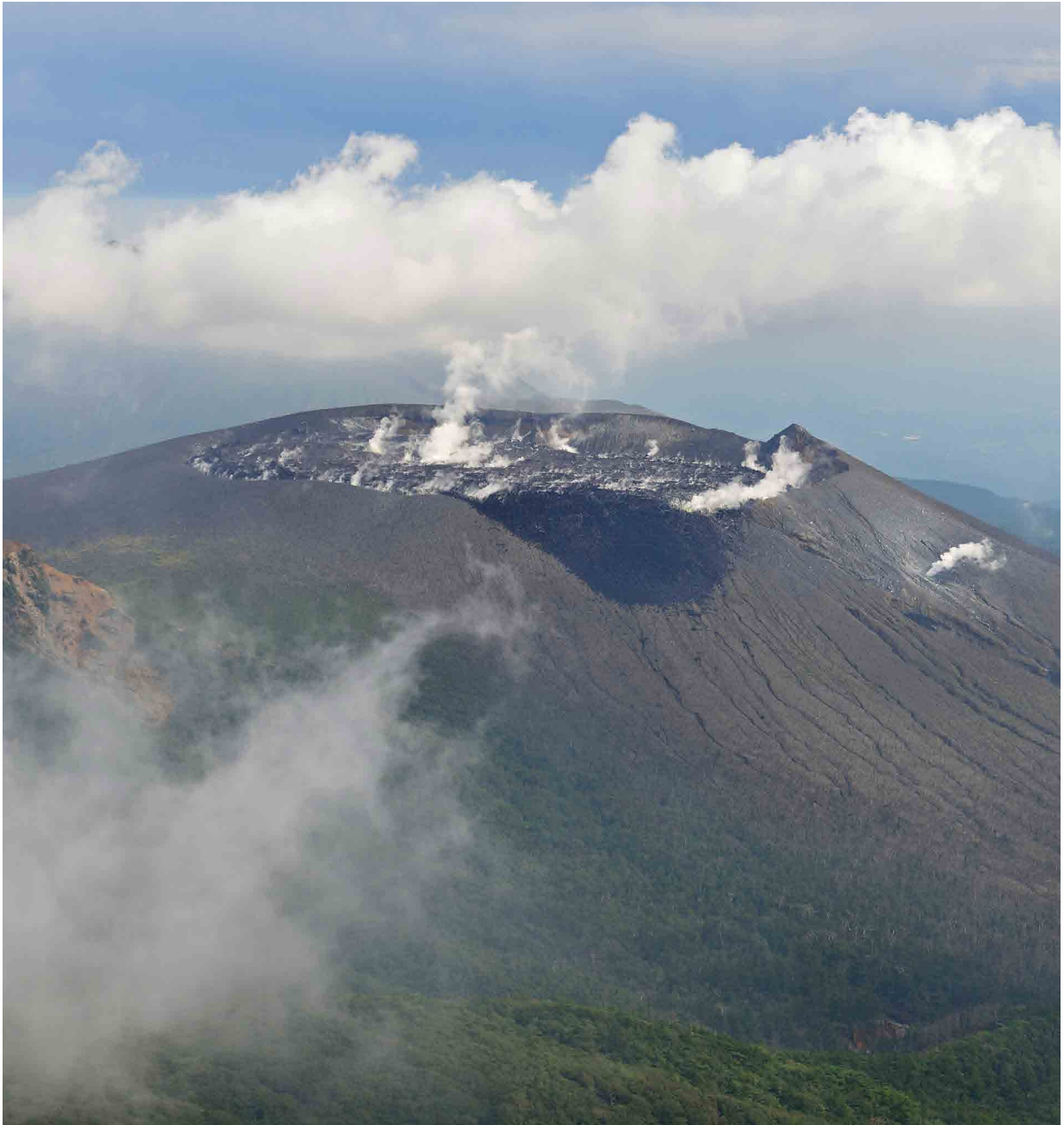
◆廃棄物排出費量



◆廃棄物処理業者・有価物業者については、処理保管現場の定期的現地視察を行い、処理に問題が無いことを確認しています。また、コロナ禍により現地視察ができない場合、リモート監査、書類監査を実施いたしました。



委託業者現地視察



2021 社会・環境レポート



双信電機株式会社
SOSHIN ELECTRIC CO., LTD.

URL : <http://www.soshin.co.jp>

〒105-0023東京都港区芝浦1丁目1番1号 浜松町ビルディング14F

お問い合わせ先
環境管理部

〒385-0011長野県佐久市猿久保664-1
TEL0267-67-4580

本レポートに対するご意見・ご感想をお寄せください。
E-mail: environment@soshin.co.jp

